

新型コロナウイルス感染防止策・遵守事項

感染拡大防止策を取りつつ行うリーグ戦であることを十分認識し、細心の注意を払って参加すること。本人はもちろんのこと、家族や仲間にも感染させてしまう可能性があるのだからくれぐれも油断しないこと。

【試合当日】

- 1 次の項目の該当者は、試合当日会場に出入りを禁止する。
 - (1) 登録された代表者等、チーム役員及び選手以外の者。
 - (2) 体調不良の場合(例:頭痛・発熱・咳・咽頭痛等の症状)
 - (3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる者。
 - (4) 14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、機関への渡航または、当該地区在住者と濃厚接触がある者。
- 2 「マスク」を必ず持参し、試合出場時以外は、必ず常時着用すること。
- 3 こまめに「石鹸」による手洗いと、出来れば「消毒液」等による手指消毒を心がけること。リーグでは石鹸・アルコール類は用意しないので各チームで用意し、使用すること。
- 4 着替え・チームミーティングは、更衣室等屋内を使用せず、屋外で間隔(2m程度)を空けて行うこと。
- 5 試合用のテーピングテープ、薬品類、用具等は個人専用とし、貸し借りはしないこと。
- 6 試合日から2週間以内に「新型コロナウイルス」感染症を発症した場合は、速やかに担当理事に濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 7 試合終了後帰宅時、ビン・缶・ゴミ等は必ず持ち帰ること。忘れ物もしないこと。

【試合時】

- 1 「健康チェックシート」をメンバー表とともに提出する、未提出の場合は「棄権」とする。また、未記入の選手は、試合に出場が出来ない。施設側から要求される提出書類も必ず提出すること。施設が使えなくなる可能性あり。「健康チェックシート」は保管期限は1か月とし、感染者が出なければ廃棄してよい。
- 2 試合前の練習は、選手同士の接触をさけ、間隔をあけておこなうこと。
- 3 試合出場選手は、健康上「マスク」は着用しない。
- 4 ボールは試合球と予備球の2・3個とし、使っていないボールは常に消毒しておくこと。そのためにボールパーソンは4名と限定せず、グラウンドの状況により人数を増やし失う時間を減らす。ボールを消毒することで、スローインもヘディングもOKとする。握手やハイタッチはしない。
- 5 メンバーチェックは、間隔をあけて行うこと。控え選手も全員が「健康チェックシート」を出し、全員の体調・体温と用具チェックをこの時に行う。
- 6 試合開始と終了時のセレモニーは行なわない。トスの時のみキャプテンが立ち会う。選手交代は本部でチェックを受けたのちは間隔を空けて待ちその位置から入場してよい。
- 7 出来るだけ接触をさける、相手選手に触れない、又、接触を誘発するプレーをしないよう心掛ける。
- 8 試合中、唾や痰を吐くこと・飲み物も吐き出すことは、厳禁。
- 9 飲料水等の容器の廻し飲みと、タオル類の共用はしないこと。
- 10 ベンチでは、間隔を空ける、また、必ずマスクを着用し、大声を出さないこと。熱中症の時期は息が整うまではマスク着用は強制しないが他者との間隔は十分空けること。戦術上や指示のための大きな声はやむを得ないが、面と向かって大声で怒鳴り合うことは禁止。
- 11 第4審判員の「マスク」着用を認め、インスペクター等競技役員も必ず「マスク」を着用すること。ハンドマイクは消毒が行き届かないため使用しない。
- 12 試合終了後は、速やかに退場する、その際ゴミは必ず持ち帰ること。忘れ物もしないこと。会場から出る前に顔を洗い・うがいをし、石鹸で手洗いを行うこと。
- 13 審判のホイッスルは通常のもので良い。主審・副審はマスクは不要、4審はフェイスシールド着用。